

Beauty Monthly Topics

急上昇する、ヘッドトリートメント需要。

昨今、男女を問わず頭皮ケアへの関心は高まっており、頭皮のエステと言われるヘッドスパや、頭皮ケアシャンプーの市場規模は拡大トレンドにあるという。人気のヘッドスパ専門店では予約も殺到しているとか。では、この様に頭皮ケアの意識が高まる傾向にはどのような背景があるのでしょうか？

- ①ストレスにさらされる生活の精神的なケアを必要としている。
- ②パソコンの多用により、眼の疲れが頭部の重さ・だるさへと繋がっている。
- ③薄毛や毛髪の根本的なエイジングケアで、若さを保ちたい。

現在のスカルプ市場の動向としては、毛髪や頭皮のケアが中心となっています。

<美容室ユーザーの声>

- ・毛髪の衰えを、根本的なケアで改善したい。
- ・自然な素材での毛髪ケアがしたい。

エステサロンにおけるヘッドマッサージ利用動機

- ・頭痛や目の疲れなど、頭部のすっきり感が欲しい。
- ・心地よさを感じ、気分をすっきりしたい。
- ・リラクゼーションの時間を取って、疲れを取りたい。



また、お客様の体験後の実感として「**小顔になった・クスマがとれた・ほうれい線が目立たなくなった**」など様々な好変化が声として挙げられています。

何故？頭をケアすることで好変化に繋がったのか・・・理論背景を理解することで、エステサロンだからできるヘッドマッサージとして、新しいアプローチをお客様に提案することが出来ます。

様々な悩みを持つお客様に対して、様々な角度からアプローチし解決することがこれからのエステサロンに求められていることではないでしょうか？



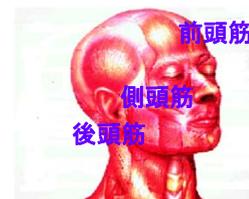
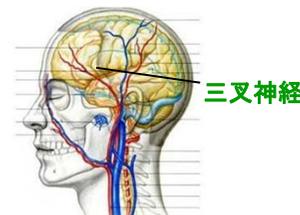
現在の市場の流れを見ると、従来のようなパーツ的なアプローチだけではお客様のニーズに応え難い事も多くあるのではないのでしょうか？
サンクが考える施術とは、身体つなごりに重点をおいています。
全身のつながりを理解しアプローチすることで、より確かな効果が得られると考えます。

今後サンクとしては、エステが行うヘッドマッサージの提案を強化していきたいと考えています。



ヘッドトリートメントによるエイジング効果のメカニズム

脳で感知されたストレスは、頭部の筋肉の緊張を起し血管が萎縮し血流が悪くなります。



- ・頭部と顔の血管や筋肉、リンパの流れは、一連となっています。
- ・頭部の筋肉の硬化や血流悪化は、同時に顔の筋肉や血流を阻害します。
- ・側頭部にある**三叉神経**には、眼神経があり眼の疲れと側頭筋は影響を及ぼし合っています。

前頭筋

前頭筋の萎縮は、瞼のたるみ・額のしわとなり眉付近に位置する顔面静脈の滞りで眼の周りのくすみを引き起こします。

側頭筋

側頭筋の硬化は、三叉神経を萎縮させ、ドライアイ・充血・瞼の痙攣を引き起こします。また、筋肉の弾力低下は、目尻のたるみとなります。歯の食いしばりで咀嚼筋が強ばり、フェイスラインのたるみになります。

後頭筋

肩や首のこりと繋がりが、萎縮すると頭全域の酸素と栄養不足となります。集中力の低下、頭痛、自律神経のアンバランスとなり免疫を低下させます。

- ホルモンバランスの乱れ、自律神経の乱れによる体調不良。
- 血行不良と筋肉硬化による、エイジングサインの悪化。

内部に働きかけるヘッドマッサージで、体調の安定や美容の基礎的ケア

次世代型ヘッドケアとは！？



分析機器を使用した新しいサロンケアシステムの構築が進められています。お客様の悩みと状態を総合的に分析して適切なケア方法をアドバイス出来るカウンセリングシステムです。また、お客様への説明がスムーズに行えるため、お客様の納得度も格段にアップします。

近い将来、エステティシャンがi-padを片手にカウンセリングをする姿も見られるのでは・・・。